

実施年度	基本目標	施策の方向	具体的な取り組み	取り組み	内容	担当課	事業名	平成29年度の実施(実績)内容(委託、助成含む)	
45	IV 生きがいを持ち、活力のある生活を送る	1 就労支援の充実	(1) 雇用・就労の促進	① 障害者雇用に関する啓発活動の促進	・ハローワークや泉州中障害者就業・生活支援センター、商工会議所等と連携し、事業主等が障害者雇用に関する理解と認識を深めることができるよう、啓発を強化します。 ・障害者雇用に関する事業所への助成制度について、ハローワーク等と連携し情報提供の支援に努めます。	産業政策課		・関係機関と連携し、事業主等が障害者雇用に関する理解と認識を深めることができるよう、適宜チラシ等を通じ、啓発強化に努めた。 ・適宜チラシ配布等を行い、情報提供の支援に努めた。	
46				② 就労相談の充実	・障害者雇用就労相談や就労困難者等雇用相談等による雇用・就労支援を推進します。 ・「地域就労支援事業推進会議」による情報交換の推進とともに、国や府の労働関係機関及び泉州中就業・生活支援センターとの連携による、相談支援ネットワークの強化を図ります。	産業政策課		・3月2日に「きしわだ障害者就職模擬面接会」を開催し、14名の参加があった。うち2名が一般就労につながった。 ・「地域就労支援事業推進会議」を始め、関係機関との会議に出席することで情報交換や連携強化を図った。	
47				③ 職業訓練・職場実習の推進	・大阪障害者職業能力開発校にて実施する職業訓練等について、関係機関と連携し、周知を図ります。	障害者支援課		大阪障害者職業能力開発校にて実施する職業訓練等の案内チラシを市の窓口に配架したり、大阪障害者職業能力開発校の募集記事を広報きしわだに掲載した。また市役所内での障害ある人の実習を行った。(障害者支援課、人権・男女共同参画課、郷土文化室にて実施)	
48			(2) 雇用・就労機会の創出	・「※行政の福祉化」への取り組みを推進するとともに、市役所における障害のある人の法定雇用率の達成と維持を図ります。 ・授産製品の製作・販売の場として福祉ショップの設置を検討します。 ・総合評価入札評価基準の改定を検討し、就職困難者及び障害のある人の雇用の促進を図ります。	人事課 障害者支援課 契約検査課	総合評価入札制度等への取り組み	・法定雇用率は達成しており、必要に応じて障がいのある人を採用している。平成29年度は2名採用。 ・市役所内での実習生の受け入れ(29年度は障害者支援課、人権・男女共同参画課、郷土文化室) ・総合評価入札評価基準の改定を検討し、就職困難者及び障害のある人の雇用の促進を図ります。		
49			(3) 就労継続(定着)に向けた取り組みの充実	・障害のある人が職場に適応し、長く働き続けることができるように、関係機関と連携して就労支援に努めます。 ・雇用と福祉分野の連携により、離職した障害のある人の再就職の支援を推進します。	障害者支援課		就労関係機関との会議にて情報交換を行ったり、支援学校進路相談会に出席し卒業後の進路に関する個別相談を行っている。 ・生活困窮者自立支援事業などとの連携。障害者就業・生活支援センターと連携。		
50			2 社会参加・余暇活動の促進	(1) 交流・ふれあいの場の創出	① 障害者団体の活動支援	・広報やリーフレット等の各種媒体により、障害者団体の活動の周知を推進します。 ・研修会、レクリエーション等、障害福祉団体の活動促進を図ります。	障害者支援課	障害者福祉団体支援事業 地域生活支援事業	・各団体への補助金を通じて、レクリエーションや研修の実施。 ・窓口での個別の相談から、各団体を紹介したりなどを行った。
51					② 交流の促進	・近隣市の障害者団体との交流等、団体間同士の交流の促進を図ります。 ・地域住民のみならず、福祉施設や企業も参画した常設型の地域の居場所づくりに取り組みます。 ・市立福祉総合センターにおいて、だれもが気軽に集える居場所を開設し、社会参加のきっかけづくりを推進します。 ・障害のある人とボランティアが、ともに学びあう機会である「岸和田市障害者学級」の運営を支援します。	生涯学習課 社会福祉協議会	青少年関係団体支援事業 誰もが集えるリビング推進事業 岸和田っ子を地域ではぐくむ居場所づくりプロジェクト居場所事業	障害のある人と地域の人々が、ともに学びあい、つながりの場を創りだしていく活動、「岸和田市障害者学級」の支援につとめています。 ・市福祉政策課との連携で多世代の住民の交流の場である「誰もがつどえるリビング」の設置・運営を支援した。(平成30年3月末現在50箇所が運営) ・市内で市民有志が取り組む誰もが参加できる食事提供がある居場所の設置・運営を支援した。(平成30年度末現在10拠点に対して支援) ・福祉センターにて、週に2回、居場所の取り組みを実施しており、開催回数93回、参加者数600人となっている。今後も社会参加のきっかけづくりの場として運営を継続する。
52				(2) 文化・スポーツ・レクリエーション活動の促進	① 各種講座の提供	・手話通訳のある講座の開催や、障害のある人の興味に応じた講座の企画を行います。 ・障害のある人の技術や能力を活かした講座の講師役の機会の提供に努めます。	生涯学習課 障害者支援課	学級講座等運営事業	平成28年度は、「保護者のための気持ちコントロール」→発達障害者向けの保護者等対象【45人参加】 平成29年度は、「音楽療法ってなんだろう?」→発達障害者向けの保護者等対象【20人参加】 「障がい児 守る防災」→障がい児向けの保護者等対象【11人参加】 社会福祉協議会が事務局であるプロジェクトグループ「から一ず」に参画し、グループワークと当事者による語りを併せた活動を企画し、市内の小中学校の生徒や教員に向けて、こころの病に関する啓発と理解促進に努めている。
53				② 文化活動の促進	・アートマルシェ等を通じ、障害のある人の芸術・文化鑑賞の機会の創出を図るとともに、内容の充実に努めます。 ・視覚障害のある人を対象として、録音図書、点字図書及び大活字本の収集、整理、保存を推進するとともに、対面朗読を実施します。また、ファクシミリを活用した受付対応及び宅配サービスの継続等、障害のある人に対する図書サービスの充実に努めます。	文化国際課 図書館	アートマルシェ 図書館運営事業	平成29年度実施のアートマルシェにおいて障害児童向けの講座に取り組みうと調整したが、講師の日程が合わず開催なし。 1 対面朗読サービス 昭和54年度からボランティアグループの協力を得て、視力障害者を対象に対面朗読サービスを実施している。また、平成6年度から、自力で本を読むことが困難な障害者にも対象を広げ、読書の機会を保障してきた。平成29年実績 133千円74回 2 カセットテープ又はCDによる「声の新着案内」の発行 視力障害のある市民を対象に、カセットテープ又はCDによる「声の新着案内」を発行し、読書の機会の均等を図っている(岸和田市視覚障害者協会との委託契約)平成29年実績 165千円 258本発行(年4回) 3 大活字本の充実 大活字本を充実し、視力の弱い方々及び高齢者の方々に読書の機会を提供。 市内の図書館で1,840冊所蔵。 4 点字・録音図書の貸出・宅配サービス 福祉総合センター等で作成された点字図書・録音図書を所蔵。また、サピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)に加入し、全国から点字図書・録音図書を取り寄せ貸出ししている。録音図書には専用の機器が必要になるため、機器の貸出しも行ってい	
54				③ スポーツ・レクリエーション活動の促進	・障害者スポーツの機会の提供を通じ、障害者スポーツの振興・充実を推進します。 ・スポーツ活動の機会において、ニーズに応じて障害のある人(児童)の受け入れを検討する等、スポーツをする場や機会の創出を促進します。	障害者支援課		・大阪府障害者スポーツ大会への選手の派遣支援や岸和田障害者スポーツ(FD)への支援、大会の開催。 ・車イスバスケットボール大会の開催。 ・各障害者スポーツグループの後方支援	
55	④ 施設のバリアフリー化	・公民館やスポーツ施設等について、バリアフリーの視点を考慮した整備・修繕を推進します。	スポーツ振興課 生涯学習課	公民館・青少年会館管理事業	施設改修の際は、スロープの一部補修やトイレの洋式化等、バリアフリーの視点において随時改修を行っている。				
56	(3) 外出・移動支援の充実	① 情報提供の充実	・各種媒体を活用した余暇活動に関する情報の収集・提供に努めます。 ・いきいき学びのプランについて、点字版や音声版の作成・発行を推進します。	生涯学習課		いきいき学びのプランについて、点字版・音声版を作成し、生涯学習情報の提供につとめています。			
57	② 外出支援サービスの充実	・手話通訳者等の派遣により、聴覚障害のある人の余暇活動への参加を促進します。 ・移動支援の増加するニーズに対応するとともに、利用者へのサービスの周知を推進します。	障害者支援課		・障害者スポーツ大会や地域のゲートボール大会等の余暇活動へ手話通訳者等を派遣した。 ・移動支援ガイドラインの見直しした内容について、事業所説明会で周知した。またガイドラインをHPIにて周知している。				